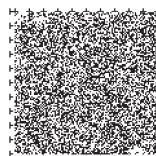


概要版

〈第五次福岡県環境総合基本計画〉

福岡県環境総合ビジョン

― 環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ ―



〈環境の将来像〉

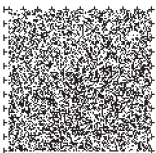
～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～

- ・分野横断的に課題に取り組むことにより、環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会を目指します。
- ・環境の将来像を実現するために相互に関連する7つの柱を設定し、柱ごとに目指す姿を示した上で、各種施策を推進します。

【7つの柱のイメージ】

□ …横断的施策

□ …分野ごとの施策



1 経済・社会のグリーン化 -技術・システム・ライフスタイルのイノベーション-

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

- 事業者が、環境配慮型のビジネススタイルへの転換、商品・サービスの開発・普及に努め、県民一人一人が、環境配慮型のライフスタイルを選択する経済・社会のグリーン化が進んだ社会。
- 環境負荷の低減に寄与する産業が発展し、新たな価値の創出や社会システムの変革等グリーンイノベーションが進んだ社会。
- 環境負荷低減努力が利益に結び付き、環境関連産業が基幹産業の一つとなっている社会。

施策の方向

- 経済・社会のグリーン化の推進
- グリーンイノベーションの推進

重点的に推進するプロジェクト

- ライフスタイル・ビジネススタイルのグリーン化を目指して ~家庭や事業所で二酸化炭素削減のためにできること~
- グリーンアジア国際戦略総合特区の推進 ~環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築を目指して~
- 環境にやさしい水素社会の実現を目指して ~水素関連産業の育成・集積と水素エネルギーの利活用促進~
- FCモビリティの普及のために
- リサイクル技術開発によるグリーンイノベーション ~リサイクルシステムの普及に向けて~

2 持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり

-多様な主体による環境啓発活動や環境教育-

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

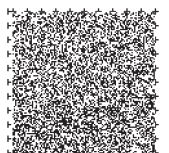
- 県民誰もが環境負荷の少ない行動を実践することで、持続可能な社会を実現している暮らしやすい地域。
- 個々に行われていた環境教育・環境学習等が広がり、地域に根差した環境保全の取組のネットワークが拡大した社会。
- ニーズに応じた環境関連情報が行き渡り、各主体が積極的に地域課題解決に向け連携している社会。
- 経済・社会活動が「環境」をキーワードにして動き、豊かな環境を持続的に利用できている社会。

施策の方向

- 地域資源を活かした魅力ある地域づくりの推進
- 環境を考えて行動する人づくりの推進

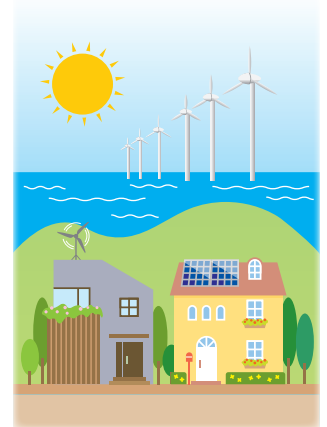
重点的に推進するプロジェクト

- 資源を活かした魅力ある地域づくり ~環境に関する様々な体験活動~
- 環境を考えて行動する人づくり ~持続可能な社会を実現するために~



3 脱炭素社会への移行 - 地球温暖化防止と気候変動への適応 -

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

- 省エネルギー型のライフスタイル・ビジネススタイルが浸透し、地域の特性を活かした太陽光、風力等の再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用、森林の適正管理が進む等、脱炭素化に向けて温室効果ガスの排出削減と吸収源に関する対策（緩和策）が進んだ社会。
- 集中豪雨等の自然災害に備えたインフラ整備や、高温に強い農作物の品種開発・普及等の対策（適応策）が進み、気候変動の影響による被害を防止・軽減することにより、迅速に回復できる社会。

施策の方向

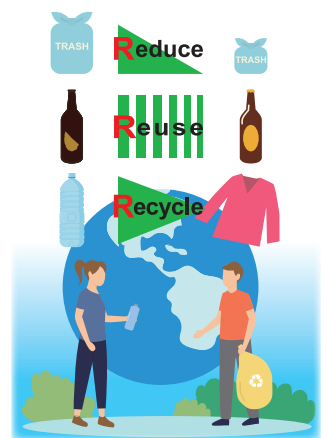
- 温室効果ガスの排出削減（緩和策）
- 温室効果ガスの吸収源対策（緩和策）
- 気候変動の影響への適応（適応策）

重点的に推進するプロジェクト

- 風力発電の導入促進 ～脱炭素社会の実現に向けて～
- 気候変動の影響と適応策 ～被害の防止・軽減に向けて～

4 循環型社会の推進 - 資源の効率的活用と廃棄物の適正処理 -

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

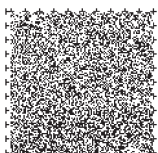
- 県民や事業者等の活動により、製品のライフサイクル全体での効果的・効率的な資源循環が進み、限られた資源が有効に利用される社会。
- 環境に負荷をかけず、かつ有用性の高い先進的なリサイクルが行われている社会。
- バイオマス等の再生可能な資源が活用され、二酸化炭素の排出量が減少するとともに、天然資源の消費量が減少している社会。
- 技術開発の進展等により、県内の資源循環関連産業が活性化している社会。
- 廃棄物の不法投棄がなく、適正に処理され、県民が快適に暮らせる社会。

施策の方向

- 限りある資源の効率的な利用
- 資源循環利用の推進
- 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減

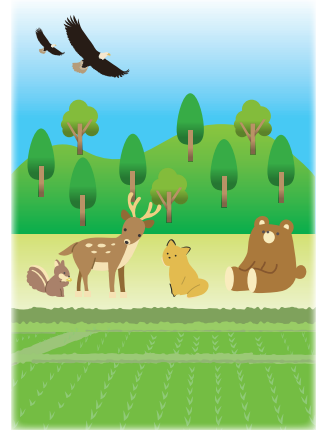
重点的に推進するプロジェクト

- 未来のために、プラごみ削減!! ～プラスチック資源循環の促進～
- 「もったいない!」で考える、食品ロス削減 ～食品ロス削減の推進～
- ICTを活用した産業廃棄物の監視指導強化 ～ごみの不適正処理の未然防止、早期解決を図る～
- 災害廃棄物処理計画に基づく自治体等との連携



5 自然共生社会の推進 - 生物多様性の保全・利用と「ワンヘルス」の実現 -

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

- 県民一人一人や事業者が生物多様性の重要性を認識し、暮らしの中や事業活動において常に生物多様性に配慮した行動がとられている社会。
- 豊かな自然の保全と社会経済活動が両立し、人と生きものが環境の中で一つにつながり、健やかにともに生きることにより成立した里地里山や里海等の地域、文化が保全される等、生物多様性の恵みを持続的に享受できる社会。
- 地域の自然や生きものに関心を持つ人々が増え、また、自然資本から得られる生物多様性の恵みが重要な地域資源として見直され、人々の郷土愛を育てている社会。

施策の方向

- 生物多様性の保全と自然再生の推進
- 生物多様性の持続可能な利用

重点的に推進するプロジェクト

- 人と動物の健康と環境の健全性は一つ ～ワンヘルスの推進～・里地里山における野生動物の生息状況等調査～
- 守ろう、福岡県の希少野生動植物 ～福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく取組～
- 自然公園等における豊かな自然の保護と利用の推進 ～自然との共生を目指して～

6 健康で快適に暮らせる生活環境の形成

- 心地よい空気・水・土・居住環境の保全 -

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

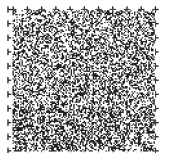
- きれいな空気・清らかな水・安全な土壌・静かな居住環境等が守られた、県民が健康で心地よく暮らせる社会。
- 個性豊かで、美しいまち並みと景観の保全形成に取り組み、誇りを持って次の世代に継承することができる社会。

施策の方向

- 統合的な対策
- 大気環境の保全
- 水環境の保全
- 土壌環境の保全
- 化学物質等による環境・健康影響対策ほか

重点的に推進するプロジェクト

- 目に見えない大気汚染や水質汚濁等から県民を守る ～常時監視等による安全安心の確保及び発信～
- 海ごみを減らすためにできることって何だろう? ～ポイ捨てしない・ごみを分別する等身近な行動からはじめよう～
- 地域の力(ちから)で河川や海岸を美しく! ～クリーンリバー・クリーンビーチの推進～



7 国際環境協力の推進 - 県内の環境技術によるアジアの環境問題の改善 -

関連する主なSDGsゴール



目指す姿

- アジア諸地域と構築した人的ネットワークや、県内に蓄積された環境技術・ノウハウ等を活用し、アジアの環境問題の改善、持続可能な社会の構築を促進する社会。
- NPOや事業者等の民間における国際環境協力が活性化している社会。

施策の方向

- 環境技術・ノウハウを活用した国際協力の推進
- 民間及び国連機関と連携した国際環境協力の促進

重点的に推進するプロジェクト

- アジア諸地域との国際環境協力を推進 ～アジア自治体間環境協力推進事業～

推進体制・進行管理

【推進体制】

■福岡県における総合的な計画推進

- PDCAサイクルによる継続的な改善を図るため、庁内協議機関である「福岡県環境対策協議会」（会長：副知事、委員：各部長及び教育長）を活用し、全庁的な進捗状況・問題点等の共有を行い、計画の推進を図るとともに、必要に応じて施策の見直し・強化等を検討します。

■県民や事業者、行政等、各主体との連携による計画推進

- 県民団体や事業者団体、行政（市長会、町村会、政令市）が参加する「福岡県環境県民会議」を活用し、各主体の活動テーマに反映させ、県民・事業者・市町村・本県が一体となって計画の推進を図ります。

■地域連携による計画推進

- 県内市町村等と連携するとともに、本環境総合ビジョンや環境に関する優良事例等の情報発信を行います。
また、市町村等に対しても、地域において様々な主体との連携や情報発信を促します。
さらに、本県の各保健福祉環境事務所に設置されている「地域環境協議会」を活用し、地域が一体となって計画の推進を図ります。

■広域連携による計画推進

- 大気汚染物質の移流や海岸漂着物対策等、県境や国境を越えた環境問題に対処するため、隣接する佐賀県や熊本県、大分県をはじめとした九州内各県その他関係自治体や他国自治体との連携、国への働きかけ等を行い、計画の推進を図ります。

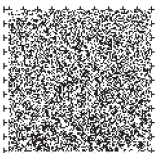
【進行管理】

■進捗状況の点検及び公表

- 指標の動向やその要因、施策の実施状況調査、更に環境に関する県民意識調査を実施する等により点検を行い、計画の進捗状況について取りまとめ、福岡県環境対策協議会及び福岡県環境審議会に報告するとともに、環境白書により公表します。

■環境の状況変化に応じた計画の見直し等

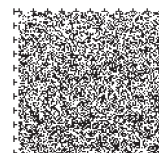
- 環境の状況変化、国内外の環境施策の動向等を踏まえ、必要に応じて計画期間中であっても見直しを行います。

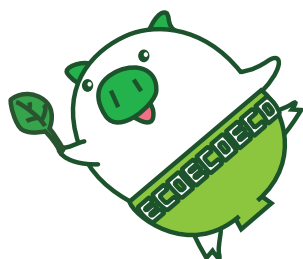


環境総合ビジョン指標一覧

柱	指標項目	目標	現状
経済・社会のグリーン化	「エコ事業所」登録事業所数	2,974 事業所 2026(令和8)年度	2,374 事業所 2021(令和3)年度当初
	新たに電動化や情報通信等の次世代技術に取り組む自動車関連企業数	75 社・団体 (5年間累計) 2026(令和8)年度	9 社・団体/年 2020(令和2)年度
	特区制度を活用して設備投資を行った企業数	累計 300 社 2026(令和8)年度	累計 164 社 2020(令和2)年度
	リサイクル技術の実用化件数	累計 49 件 2026(令和8)年度	累計 37 件 2020(令和2)年度
持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり	こどもエコクラブ登録団体数	200 クラブ 2026(令和8)年度	143 クラブ 2020(令和2)年度
	環境講座・環境イベント等の開催数	1,560 件 2026(令和8)年度	1,043 件 2020(令和2)年度
脱炭素社会への移行	再生可能エネルギー発電設備導入容量	405 万kW 2026(令和8)年度	269 万kW 2020(令和2)年度
	家庭(1世帯当たり)におけるエネルギー消費量 ¹	23.3 GJ/世帯 2026(令和8)年度	26.9 GJ/世帯 2018(平成30)年度
	事業所(床面積当たり)におけるエネルギー消費量 ¹	1.04 GJ/㎡ 2026(令和8)年度	1.13 GJ/㎡ 2018(平成30)年度
	公共建築物等における木材利用量	累計 55,000㎡ 2026(令和8)年度までの5年間	累計 46,227㎡ 2020(令和2)年度までの5年間
循環型社会の推進	一般廃棄物最終処分量	171 千トン以下 2025(令和7)年度	176 千トン 2020(令和2)年度
	産業廃棄物最終処分量	526 千トン以下 2025(令和7)年度	510 千トン 2019(令和元)年度
	食品ロス削減県民運動協力店(食べもの余らせん隊)登録店舗数	1,500 店舗 2026(令和8)年度	1,192 店舗 2020(令和2)年度
自然共生社会の推進	生物多様性プラットフォーム(ホームページ)のアクセス数	266,100 件 2026(令和8)年度	177,391 件 2020(令和2)年度
	平尾台自然観察センターの利用者数	44,000 人 2026(令和8)年度	39,980 人 2018(平成30)年度
	農地等の維持・保全に取り組む面積	42,180 ha 2026(令和8)年度	41,545 ha 2020(令和2)年度
健康で快適に暮らせる生活環境の形成	環境基準の達成率	環境基準達成率の向上・達成維持を図る 2026(令和8)年度	大気 (SPM、NO ₂ :100%) 水質 (BOD、COD:76.1%) DXN類 (大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水、土壌:100%) 騒音 (航空機:97.6%、新幹線:70.5%、自動車:96.2%) 2020(令和2)年度
	河川及び海岸愛護団体登録数	700団体 2026(令和8)年度	511団体 2020(令和2)年度
国際環境協力の推進	本県が行う国際環境協力の案件数	累計 27 件 2026(令和8)年度	累計 14 件 2020(令和2)年度
	本県が行う国際環境協力に係る研修への参加者数	累計 315 人 2026(令和8)年度	累計 231 人 2020(令和2)年度

¹ GJ(ギガジュール):J(ジュール)はエネルギーの単位。1GJは、エアコン1台(2020年式、冷暖房兼用、冷房能力2.8kW)の1年間の消費電力量(815kW)の約1/3に相当する。





エコトン
(福岡県広報部長)

福岡県環境総合ビジョン【概要版】

令和4年3月発行
編集・発行 福岡県環境部環境政策課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
電話(092)643-3355(直通) FAX(092)643-3357
Eメール kansei@pref.fukuoka.lg.jp
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/hiroba1.html>
(環境総合ビジョン及び環境に関する各種情報をご覧いただけます)

福岡県行政資料

分類記号 MA	所属コード 1900103
登録年度 03	登録番号 0007

このマークは目の不自由な方が使う音声コードです。専用装置やスマートフォンのアプリ(Uni-Voice)を使い読み取ることで、ページに書かれている文章を音声で聞くことができます。

